

気候情報

2017年7月の日本の天候

- 北・西日本で気温がかなり高かった
- 北日本太平洋側で日照時間がかなり多かった
- 「平成29年7月九州北部豪雨」が発生するなど、北・東・西日本日本海側で局地的に大雨

7月の天気概況

太平洋高気圧の縁を回って西から暖かく湿った空気が流れ込みやすく、梅雨前線の活動が活発になった時期があったために、北・東・西日本日本海側を中心に局地的に大雨となった。5～6日に、西日本日本海側では「平成29年7月九州北部豪雨」が発生するなど、記録的な大雨となったところがあった。

上旬：旬のはじめは梅雨前線が日本海に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んだため、東日本日本海側を中心に大雨となり、土砂災害や浸水害などが発生した。旬の後半は西日本へ南下した梅雨前線の活動が活発となった。北日本は旬の後半は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

旬平均気温は、北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。沖縄・奄美で平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側で少なかった。一方、東日本日本海側でかなり多く、西日本日本海側で多かった。北日本日本海側、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で平年並だった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側と東日本で多かった。西日本と沖縄・奄美で平年並だった。

中旬：北日本では、気圧の谷や前線の影響で北海道地方の旬降水量は多かったが、梅雨前線の活動は弱く、晴れた日が多かった。東・西日本と沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。九州南部では13日ごろ、関東甲信、東海、近畿、中国、四国では19日ごろ、九州北部では20日ごろに梅雨明けした（速報値）。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北日本太平洋側、東・西日本、沖縄・奄美で少なかった。一方、北日本日本海側で多かった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側、東日本、西日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。沖縄・奄美で平年並だった。

下旬：梅雨前線が北陸地方から東北地方付近に停滞しやすかったため、各地で大雨となった。東日本では梅雨前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、西日本と沖縄・奄美でかなり高かった。北・東日本で平年並だった。

旬降水量は、西日本太平洋側で少なかった。一方、東日本日本海側でかなり多く、北日本で多かった。東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で平年並だった。

旬間日照時間は、東日本で少なかった。北・西日本と沖縄・奄美で平年並だった。

7月の気候統計

月平均気温：北・西日本でかなり高く、東日本と沖縄・奄美で高かった。

月降水量：東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側で多かった。東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では少なかった。北日本太平洋側と西日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：北日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側と東日本太平洋側で多かった。東日本日本海側、西日本、沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

7月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）
釧路 18.2 輪島 26.0 など4地点
- ・月降水量多い方から（mm）
伏木 566.0
- ・月降水量少ない方から（mm）
八丈島 2.5
- ・月間日照時間多い方から（h）
苫小牧 183.8 沖永良部 328.3 など3地点

2017年7月の平年差（比）図

